

第 14 回 府中町公共交通協議会 議事録

■開催日時 令和 6 年 6 月 28 日（金）13 時 30 分～

■場所 府中町役場 5 階 第 2 委員会室

■出席者 委員 12 名（欠席 4 名）

■説明者 府中町建設部都市整備課

■事務局 開会の挨拶

■町長挨拶

【町長】

- ・昨年、府中町地域交通網形成計画を改訂した府中町地域公共交通計画を策定した。
 - ・今回は、デマンドタクシーうぐいす号の国庫補助金を取得するための計画の承認、及びそれに伴う財務規則の制定などの議論を行う。
 - ・今後とも計画の基本方針である、広島で 1 番お出かけしやすい町を目指し、本協議会を通じて計画に位置づけられた施策を推進していきたい。そのために、引き続き学識、地域、事業者、行政のそれぞれの立場で府中町の地域公共交通に力を貸していただきたい。
- （公務の関係で退席）

■次第 2/議案 1/会長、職務代理の選任

前会長の大東委員に依頼、他に立候補や推薦等、異議も無いため、大東委員が再任

■会長挨拶

【大東会長】

府中町の公共交通のこれからの充実・維持に向けて、委員の皆さま方からご意見等いただき、この会を充実したものにしていきたい。

■職務代理者指名に礒亀委員を指名

礒亀委員の代理の倉崎次長が了承

■議案 2 令和 7 年度地域内フィーダー系統確保維持計画について

【事務局】

（地域内フィーダー系統確保維持計画について説明）

■質疑応答

【委員】

昨年度の事業の内容から変更はないという認識でよろしいか。また、利用者アンケートや住民からの意見聴取はどの程度行われているのか。

【事務局】

一点目について、基本的には昨年度の事業の内容から変更はないが、目標値については、昨年再設定しているため若干変わっている。基本的には実績値から令和10年度の目標値に向かって比例的に伸びていくと仮定して令和7年度の目標値を定めている。

二点目について、利用者アンケートは令和4年10月に実施しており、そこから2年経つため、今年2つの町内会に向けてアンケートを実施する予定である。

【委員】

令和10年の利用者数の目標値が5000人とのことだが、清水ヶ丘・桜ヶ丘の人口推移を把握しながら計画を立てているのか。

【事務局】

ご指摘の通り、清水ヶ丘・桜ヶ丘の地域の人口は減っていて、さらに高齢化率も高くなっている。それも加味して5000人という数値に設定している。

【委員】

デマンドタクシーは広島市も通るが、そこを通った分の補助金は請求できるのか。

【事務局】

イオンモール等少しだけ広島市を通過しているが、基本的に清水ヶ丘・桜ヶ丘地域の住民を対象としたものなので、広島市走行分の国庫補助金は請求できない。ただし全体の走行分の5%程度である。

【委員】

城ヶ丘や山田など、運行地域を増やして運行していこうという計画はあるか。

【事務局】

今後、広島電鉄との協議によって、例えば城ヶ丘付近のバス停が路線変更あるいは廃止になる等、公共交通に関わる状況の変化があれば、ただちにこの協議会招集し、そこに新たな交通モードを入れる必要があるか議論したい。

【委員】

デマンドタクシーではなく、今のつばきバスの運行を拡大してほしい。

【事務局】

JR 向洋駅方面への経路によるアクセスの向上をはかる予定である。

【会長】

本議案について、事務局を承認するということによいか。

【各委員】

承認する。

■議案 3 府中町公共交通協議会規約の改定について

【事務局】

(府中町公共交通協議会規約の改定について説明)

【会長】

本議案について、事務局を承認するということでよいか。

【各委員】

承認する。

■議案 4 府中町公共交通協議会財務規程の制定について

【事務局】

(府中町公共交通協議会財務規程の制定について説明)

【会長】

本議案について、事務局を承認するということでよいか。

【各委員】

承認する。

■次第 3/報告 1「MOBIRY DAYS」の導入について

【委員（広島電鉄）】

来年（令和 7 年）3 月 29 日をもって PASPY が終了し、今年（令和 6 年）夏から新乗車券システム「MOBIRY DAYS」がスタートする。約半年間併用期間を設けることでこの新しい乗車券サービスの方に切り替えをしていただきたい。

■プロモーションビデオ鑑賞

【委員（広島電鉄）】

・一部路線では 7 月上旬に先行導入するが、本格導入は 9 月を予定している。つばきバスについても、9 月の全線展開のタイミングで導入予定である。

・スマホやパソコンから会員登録ができる。その時に決済方法としてクレジットカードあるいは銀行口座を登録いただき、キャッシュレスでの利用をお願いしたい。スマホやパソコンをご利用でない方、あるいはクレジットカード・銀行口座でのお支払いが難しい方については、窓口で登録、もしくは現金でのお支払いの対応をさせていただく。

・スマホの QR コードまたは専用 IC カードを乗降口の読み取り機にかざすことで利用できる。

・定期券の購入について、これまでは窓口へ出向いていただきご購入いただいていたが、ウェブサイトからご自身でお手続きしていただくことができるようになる。

・チャージについて、スマホで簡単にチャージをしていただくことができる。また、オートチャージの設定もできる。

・地域限定の運賃サービスについて、自治体から要望等あれば、自治体の住民の方限定で運賃を少し割引するサービスや、マイナンバーカードと連携をすることで一定の方だけの割引をするといったようなこともできる。

・現在のPASPYの車載器から、今度は「MOBIRY DAYS」の車載器に切り替わっていくので、一時的に両方の車載器が付いた状態の期間があるが、そこは使い分けをお願いしたい。全国交通系ICカードの取り扱いについては、「MOBIRY DAYS」の車載器ではご利用いただけないので、また別の機械をご用意してICOCA、SUICAなどをご利用いただけるように対応していく。ひとまず来年（令和7年）3月29日までは今のPASPYの機械でICOCA、SUICAも引き続き利用していただけるので、それ以降、また新しい機械での対応とさせていただく。

■質疑応答

【委員】

将来的にICOCAは使えないということか。

【委員（広島電鉄）】

今取り付けをしている「MOBIRY DAYS」の機械とは別の機械で、来年（令和7年）3月30日からは対応させていただく。

【委員】

その機械の外観イメージはどのような形か。

【委員（広島電鉄）】

乗降口に設置するタイプではなく、乗務員が携帯をして対応させていただく。

【委員】

ICOCA、SUICAを使いたい時は乗務員に言わなければならないというのは県外から来る人にはわかりづらいのではないか。

【委員（広島電鉄）】

「MOBIRY DAYS」は、地元の方に便利なサービスを提供するという目的で用意している。県外の方、観光客の方が、ICOCA、SUICAを使われている場合は、使えませんという訳にはいけないので、別の機械で対応させていただく。

【委員】

「MOBIRY DAYS」の取り扱い窓口の場所はどこか。

【委員（広島電鉄）】

曙の営業所や広島駅の発売窓口。

【委員】

ソレイユもしくは府中町のどこかに窓口を作ってもらうことはできないか。

【委員（広島電鉄）】

サービス開始当初は、登録キャンペーンを色々な所へ出向いて、臨時窓口を設けて、対応させていただくことを検討している。

【委員】

そういう情報を、府中町の住民に共有してほしい。

【委員】

スマホ・パソコンをうまく使えない人へのサポートは考えているか。

【委員（広島電鉄）】

できるだけ色々な所で、登録のご案内や登録の操作を補助させていただくような窓口を設けて、ご自身で登録が難しい方のサポートはやっていきたい。

【委員】

以前、回数券やバスカードから PASPY になった時にもいろいろ変わった。その切り替えがきちんと出来るサポートをお願いしたい。その上で例えば、つばきバスが 150 円なので、150 円定期券みたいなものを作るとつばきバスの利用者も増えると思う。

【委員（広島電鉄）】

9 月からは当面今 PASPY でやっているものを移行させるという方針で進めている。今お話しされているのは新しい取り組みになるので、そこは府中町さんと相談する。

【会長】

スマホもパソコンも使わない方にとっても、公共交通はみなさんが使えなければならぬ。そういう点で新カードへの移行をしっかりとサポートしていただきたい。新しいシステムに移行してしまえば、これから新しい取り組みが非常にやりやすくなるのは間違いないので、スムーズな移行をお願いしたい。

【委員】

広島では赤バス、青バスがあるが、使えないということか。

【委員（広島電鉄）】

広島電鉄以外の会社への導入に関しては現在検討中。

■その他

【事務局】

事務局から二点お伝えする。

一点目は、今回新たに協議会の監査を設けたので、後日委員の中から会長が指名する。決定した監査の方に関しては、今後の協議会にてご報告させていただく。

二点目は、次回の協議会は 12 月を予定しており、開催方法や日程に関しては、決まり次第ご案内させていただく。

以上